

目指せ！ ホタテガイ 養殖業への道

ホタテガイ養殖業に就職を考えているみなさまへ！

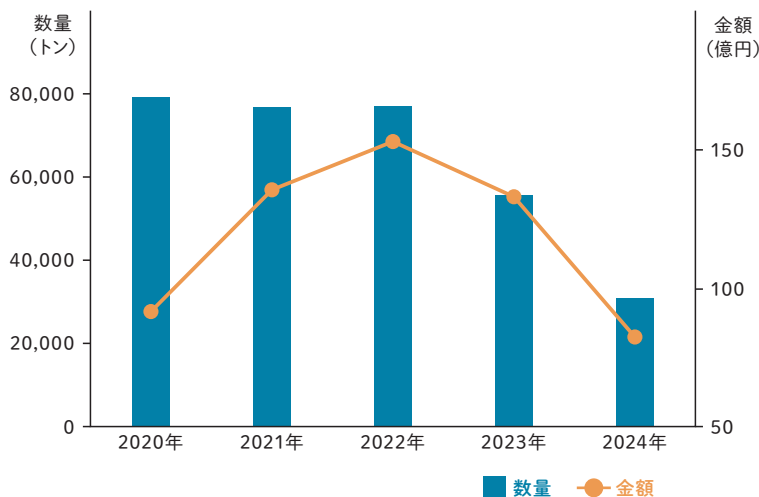
青森県が誇る「ホタテガイ養殖業」。
未来に向けて今大事なのは
「よし！ホタテガイ養殖業で働いてみよう！」
というアナタの存在！
これから目指すみなさまのため、
今回、私がホタテガイ養殖業について
取材してきました！



【取材】井上 青

青森県の水産業のメイン「ホタテガイ養殖業」！ まずは現状を知っておこう！

ホタテガイ養殖業の生産量・生産額について



出典 青森県海面漁業に関する調査結果書

近年は採苗不振、高水温による影響などがあり生産量・生産額ともに減少していますが、現在、陸奥湾ホタテガイ養殖業の未来に向けた対策を行いながら、10年後には年間生産量8万トン、生産額100～150億円を維持できるような、効率的な養殖生産体制の確立を目指しています！

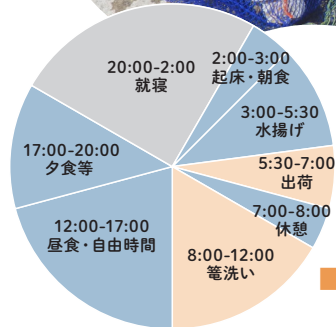


就職した場合はどんなライフワークになるのかな？ シミュレーションはコチラ！



半成貝養殖を主体とする兼業従業員雇用経営の場合

半成貝出荷の繁忙期は、早朝の海での養殖籠の水揚げと、港に戻ってきてからの出荷作業がメイン。1連10段の養殖籠を250連ほど水揚げして、船上で30kgずつ運搬用の万丈籠に移し替えます。持ち帰った万丈籠は、トラックで漁協に運んで出荷します。出荷後は養殖籠の洗浄作業がありますが、お昼からの時間はゆったり自分の時間が満喫できます。



■ 年間スケジュール

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
籠準備 採苗器作成		採苗器 投入		半成貝出荷 (繁忙期)			稚貝 採取	別仕事 (農作業)	養殖施設 管理		稚貝分散

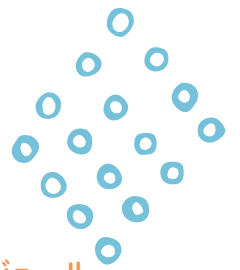
半成貝や成貝を養殖する従業員雇用経営の場合

半成貝、新貝、成貝を養殖する場合、同じ時期に複数の作業を並行して行います。中でも一番人手が必要となるのは1月中旬からの新貝・成貝用の耳吊り作業。まずは早朝の海で耳吊りに使う稚貝の養殖籠を5~6人で水揚げします。港に持ち帰った稚貝は作業小屋に運搬。その後、貝に穴をあけ、ロープに取り付けられたピンに留めていく手作業を5~6人で行います。根気よく丁寧な作業が求められるため、小まめな休憩時間をはさむことでリフレッシュできます。



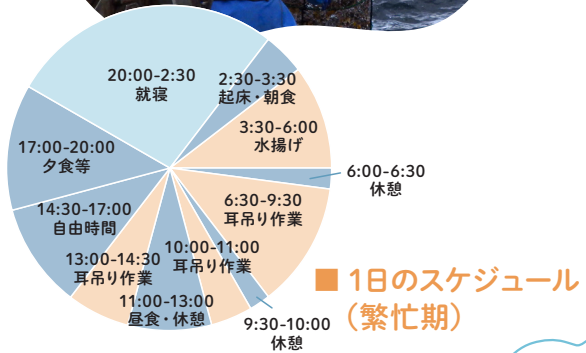
■ 年間スケジュール

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
耳吊り作業 (繁忙期)			半成貝出荷		稚貝採取			養殖 施設 管理	稚貝 分散	籠準備 採苗器作成	
			採苗器 投入	成貝出荷		新貝・成貝 出荷				他漁業	



成貝養殖を主体とする家族・従業員雇用経営の場合

成貝養殖には耳吊りと丸籠の2種類の方法がありますが、冬に成貝の出荷があるので、耳吊り作業や丸籠への入れ替えは3月頃から始まります。耳吊りの場合、稚貝の水揚げ作業は家族中心で行われ、作業小屋に持ち帰った後は、10人ほどの従業員と一緒に耳吊り作業を行います。量が多いので、自動で貝に穴を開ける機械や、開けた穴にピンを通す機械も使います。手作業の方は単純作業が続くことも配慮し昼の休憩は長めにとられています。一緒に作業するみなさんとの会話も楽しいですよ。



■ 年間スケジュール

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
成貝出荷	耳吊り作業 (繁忙期)	採苗器投入	成貝出荷	稚貝採取	籠準備	養殖施設管理	稚貝分散	養殖施設管理			



気になる将来のお金 就職後の収入を聞いてみました!

従業員として就職した場合

日給 9,000円 (作業や熟練度等で変動あり)

稼働日数 月20日程度

独立した場合

水揚 2,000~3,000万円

経費 水揚の50~60%

収入 1,000~1,200万円



就職を希望するみなさんへ

漁師の方からのアドバイス&メッセージ!

高校卒業後10年ほど会社に勤めていた私がホタテ漁師になったきっかけはホタテ漁師の収入がよかったから。

当時、朝が苦手だった私は起きることがつらかったですし、船酔いも何度も経験していました。

ただこの仕事の魅力は元気なホタテがたくさん獲れた時の喜び。自分で育てたホタテですから何にも代えがたい思いになりますよ。

これから就職を希望されるみなさま。私が養殖している蓬田地区は、周りの漁師も漁協の職員のみなさんも心温かい人たちでいっぱいです。

ぜひ一緒に始めてみませんか?お待ちしております!



蓬田村
田村 初雄さん



平内町
遠嶋 道拓さん

父がホタテ漁師だったため、小学生の頃から手伝いはしていましたが、ホタテ漁師になるのがいやで高校卒業と同時に一旦上京。家を出る際に、父とは5年で家に戻る約束はしていたので結果20才過ぎには帰青しましたが(笑)。

今、振り返ってみると亡くなった父の指導のおかげで漁の技術を習得できたことは本当に感謝ですね。

ホタテ漁師は働いた分の成果が得られる職業です。

将来を考えるみなさん。これからの自分の未来について検討してみてくださいはいかがですか?

家業の手伝いを通し、小さい頃から興味を持ち始め「ホタテ漁師になる!」と心の中で決めていました。

それは周りの大人たちが支え合いながら、いつも楽しそうにしている雰囲気が好きだったから。

水産高校を卒業し、念願の漁師になってから早や10年。

おかげさまで親方並に船の舵を握って漁に出ています。

そして今、小さい頃感じたあの雰囲気を、同世代の地元漁師の友人たちと味わえていることが本当に幸せです。

ホタテ漁師を目指しているみなさん。支え合いながら楽しく一緒に頑張りましょう!



横浜町
青木 祐太郎さん

現役漁業者への支援制度 支援制度は大丈夫？



現役漁業者への支援制度

漁業経営の安定に向けて、下記の支援制度などを積極的に活用する人もいます。

(各制度には利用条件があります)

- ・ 漁業共済制度
- ・ 融資制度
- ・ 漁船や施設設備の取得にかかる補助事業
- ・ 漁業経営セーフティーネット構築事業など

将来は独立したいあなたへ 先輩漁業者からのアドバイス

みなさまへアドバイス

- ・ 漁業へ就業したばかりの人が技術や知識を学ぶ際には、国や県の支援制度や研修を利用できる場合があります。
- ・ 養殖業を始めるためには、漁業協同組合の組合員になる必要がありますが、就業年数や漁業技術の上達度、地域への居住などの条件があります。
- ・ 独立には数千万円の費用がかかるため、先輩漁業者から譲ってもらったり、購入したりして始める人が多いです。
- ・ まずは従業員として地域に溶け込み、先輩漁師や地域住民と仲良くなることが大事です。



**ホタテガイ養殖業を目指すみなさん！
青森県の水産業の未来を期待してます！**